

令和6年度

信州ESDコンソーシアム成果発表 & 交流会

SvayRiangAhnuwatPrimarySchoolGrade5&6への質問・感想

- ・ スクールポリスの活動をしてよかったと思うところはどこですか。
- ・ 今回、ESDコンソーシアムで発表しようと思ったきっかけはなんですか。
- ・ いいづな学園グリーン・ヒルズ小学校の活動を見てどう思いましたか。
- ・ 手をつないでいる様子が見られ、伝統や交通安全を守っている様子が見られてよかったです。
- ・ スクールポリスという存在について初めて知った。伝統が続いていていいと思った。
- ・ 自分達で自分達のことを守る活動である学校警察という活動について、初めて知ったので、とても興味深かった。
- ・ 発表ありがとうございました。スクールポリスという活動がどのようなものか、具体的な活動例を用いて発表されていたのでとても分かりやすかったです。伝統のある活動を知ることができて、日本でも何か参考にできることは何かを考えていこうと思います。
- ・ 最後に日本語でまとめてくださって助かりました、子どもたちが警察のようになって自分たちの交通安全を守っていくことで子どもの飛び出し等日本で問題になっているような子どもが関連した事故が無くなりそうでとても良い取り組みですね。長い間伝統として取り組まれているようですが、それに対して今にあっていいのかを見直そうという取り組みはあたりするのでしょうか。

〔スバイリエン州小学校教員養成校附属小学校長、副校長からの回答〕

すでに状況や時代に合わせて見直しながら取り組んできた。スクールポリスが始まった28年前は教員のみが取り組んでいた。その後、子どもたちも取り組みたいという気持ちが芽生え、1日1組5名程度で道路左右2組に分かれて一時的に交通を止めた。さらに近年は下記のように変更した。①専用の制服を着用する。②時々ポリスもともに行う。③1日10名程度に増やし2組に分かれて一時的に交通を止める。④曜日毎に担当学年を決めた。⑤コーンを使用する。⑥合掌してあいさつをする。

- ・ 小学生が交通安全について日常的に活動しているという点がいいと思った。日本でもあると思うが、小学生一人一人が自転車を引いて活動しているという部分は日本にないやり方であり、日本では学校の区域内で子ども達が立って挨拶をするという場合が多いと思った。
- ・ バイクや車が通る道がとても危ないのをなんとかするために子ども達で安全にしようとしていることが素晴らしいと思いました。バイクや車が入らないよう、帰る子ども達が安全なように子ども達で手をつないで道を作っているのがとても印象的で素敵な光景でした。
- ・ 発表内容が詳しく聞けなかったため、しっかりと感想を書くことができません。すみません。質問で、なぜカンボジアは10歳からバイクに乗ることができるのでしょうか。日本との違いは何でしょうか。

〔スバイリエン州小学校教員養成校附属小学校長、副校長からの回答〕

法律上は、18歳からガソリン式のバイクに乗ることができる。10歳以上（小学5年生以上）が乗っているのは電子充電式のバイクであり、運転が許されている。両親が運転方法を教える。また、家族や親戚の規模が大きくみんなで助け合って暮らす文化があるが、近年は昔よりも遥かに仕事が忙しくなった。そのため、学校まで親戚や兄弟姉妹が送迎したり兄弟姉妹とともに自分自身で登下校できたりするのも家族内での助け合いのひとつである。2021年以前は自転車通学が主流だったが、同年以降は子どもたちのバイク通学も増えた。その理由のひとつに、保護者が自転車よりもバイクの方が登下校に時間がかからないと思ったため。しかし、現在も保護者の送迎が全くないわけではない。20歳前後の小学校教員養成の学生にも聞いてみると、約10年前（彼らが小学生の頃）は保護者の送迎だったとのこと。

- ・ 自分たちの安全を自分たちで守っているのは、本当に素晴らしいと思いました。我々も、自分たちの安全について見直していきたいです。他の国の安全教育に目を向けてみることも、違った視点で“安全”を捉えられると思います。今後も、活動を進めていってください。応援しています。
- ・ 素敵な発表ありがとうございました。自分たちの学校生活をより良いものにしたいという気持ちを持って活動してきたことが伝わってきました。
- ・ SchoolPoliceの取り組みにはないものでとても新鮮でした。下級生の下校の安全を先生とともに上級生が守ってあげる感じがとても良かったです。国を越えた発表ありがとうございました。これからもがんばってください！
- ・ 私たちが小学生のときには、子どもの保護者の方々がところどころで交通安全指導をしていたので、スクールポリスといって子どもたちが交通安全のために自ら活動しているのはすごいと思いました。そして、そのスクールポリシーが28年も受け継がれているに驚きました。これからも、街の交通安全のために頑張ってください。
- ・ カンボジアの子どもたちは交通事故を減らすための取り組みを行い、安全な通学や地域の交通ルールについて学んだ。この活動を通じて、交通安全の重要性を理解し、自分たちができる工夫や注意点を考える力を養う貴重な機会となった。
- ・ 学年ごとに決まった曜日に学生たちが実際に交通安全を守る活動をしているのは日本にはない活動で驚いた。

- 学校の伝統を引き継ぐという姿勢が国を超えて共通であることがとても勉強になりました。
- カンボジアとの交流を通してより国際的な関わりという大切さを感じることができた。伝統のスクールポリスの映像は自分にとってとても印象に残った。
- 学校に通う子どもたちがバイクや自転車に乗って登校することが当たり前になっているための「スクールポリス」という伝統的な文化は素敵だと感じました。日本にも横断旗や防犯ブザーで自分の身を守りますが、このような日本の文化がこれからも続いていけば良いなと思います。
- カンボジアの方の発表は初めてでとてもおもしろかったです！これからもがんばってください！
- スクールポリスは子供たちの安全を守り、子どもたちが気持ちよく学校に通うために必要な存在だということを学ぶことができる良い発表だった。
- スクールポリスという子どもたちによって子どもたちの安全を守る伝統を作り、それを保ち続けた事はとても素晴らしいことだと思います。自分たちなりのやり方でより良い交通安全のやり方を考え続けられるといいと思います。
- 「スクールポリス」という活動は日本の学校では見たことがない取り組みであったので非常に興味深かったです。この活動は28年前から行われており、学校の伝統となっており、町の伝統を守っているということが分かりました。
- 義務的なものと捉えるのではなく、活動を楽しんでいそうなのがとてもよかったと思う。目に見えるところに学びを見いだせていてよかったと思います。今後も長年続いてきた伝統を守ってほしいなと切に願っています。
- スクールポリスという言葉は初めて聞いたが、やっていることは自分たちがやっていた委員会と同じようなものなのかもしれません。しかし、日本とは違い、交通が完全には整っていないところでは、事故を減らすことに関してはかなり有効な手段なのかなと思います。
- スクールポリスの活動を通して手をつないで車の通行を止めて、交通安全を守る活動が印象に残りました。日本では16歳以上でないとバイクに乗ることができないので、通学方法が自転車やバイクであることに私は驚きました。これからもスクールポリスの活動や伝統を守ることに尽力してください。応援しています。
- 日本では聞きなれない「スクールポリス」という活動について活動の様子がわかる動画があることでわかりやすかったです。またスライドには英語と日本語の字幕もつけられており、配慮が感じられてよかったと思いました。
- **ខ្ញុំមានអារម្មណ៍ថាអស្ចារ្យណាស់ដែលអ្នករាល់គ្នាបាននាំមុខក្នុងការធ្វើសកម្មភាពសុវត្ថិភាពចរាចរណ៍។វាឱ្យយុវជនប្រុងប្រយ័ត្នលើសពីគ្នាខ្ញុំគិតថាអស្ចារ្យណាស់ដែលវាបានក្លាយជាប្រពៃណី។ខ្ញុំជឿថាសាលាជាប់នឹងមានសកម្មភាពសុវត្ថិភាពចរាចរណ៍តិចជាងមុន។សូមបន្តប្រឹងប្រែងឱ្យអស់ពីសមត្ថភាពដើម្បីការពារចរាចរណ៍ក្នុងតំបន់។**
 I thought it was great that everyone was leading the traffic safety activities. It's so cool that you look like real police officers. I also think it is wonderful that it has become a tradition. I think there are not many traffic safety activities in Japanese schools. Please keep up the good work for local traffic safety. 皆さんが先頭に立って交通安全の活動を行っていてすごいと思いました。本物の警察官みたいでかっこいいですね。また、それが伝統になっているのも素晴らしいことだと思います。日本の学校では、交通安全の活動は少ないほうだと思います。これからも地域の交通安全のために頑張ってください。
- スバイリエン州小学校教員養成校附属小学校の皆さんの発表すばらしかったです。スクールポリスについてのお話とても面白かったです。私が通っていた小学校にはそのような文化はなかったのととても興味深かったです。日本の小学校でもやってみても面白いと感じました。
- school policeというのは日本では聞かない文化なので、とても興味深かったです。日本でいうところの保護者による通学路の見守りを、生徒たちが自らおこなっているのかと受け取りました。生徒たち自身が進んで交通安全活動を行うことで、自己責任で自分や友達、学校全体の安全を守ることに繋がる上、地域の治安問題にも触れる機会になると思うので、非常に意義のある活動であると感じました。ありがとうございました。
- 道路が危険である、という地域特有の問題に対して、「交通を一時的に止める」という活動を行なっているのが、興味深く素晴らしいと感じました。地域の問題に沿った対応を、長年行い後輩にも引き継いでいくという取り組みは、子どもたち自身が問題解決に取り組むという重要な姿勢を感じ取ることができました。
- スクールポリスというのは、とてもユニークで私も興味があります。自分たちの地域の交通を自分たちの手で守っていくという行動力が素晴らしいと思います。皆さんの身につけている洋服がとてもかっこいいです！私たちも、日本の伝統と交通安全を守るために何ができるかを考えていきたいと思いました。
- カンボジアに実際に行ったことがなく、現地の交通安全の状況はよくわからないけど、子どもたちが率先して自分たちが住むところの安全を守る活動をしていてすごいと思います。子どもたちの行動力に圧倒されました。日本とカンボジア、地理的な距離は遠いですが、お互い安全に気を付けて過ごしましょう。
- 交通安全について考えることは非常に大切なことだと改めて感じました。いつも自分を優先して車や自転車が走ってくれるわけではありません。スクールポリスがいてくれれば安心だなと思いました。スクールポリスを見習って、交通安全には気をつけようと思いました。
- あまり聞き取ることができなかったが、学校の交通安全維持のためのスクールポリスなのだろうか。生徒が自主的に活動している姿は日本だけでなく、世界各地にあることを再確認した。皆で交通安全を維持しようとすることはとても大切であると考え。交通量の多いカンボジアではこのような活動を通して子どもを守っていくことが必要であることを学んだ。

- ・ スクールポリスというものの存在は初めて聞いたが、学校前の交通安全を守るといものは教員を目指す子たちにとって良い活動だと思う。今後とも学校前の交通安全と生徒の安全が守られるように活動頑張ってもらいたいと思う。
- ・ カンボジアでは原付に乗って小学生が登校しているということを知って驚いた。日本では16歳にならないと免許が取れないのでその部分で文化の違いを感じた。このような登下校の方法の生徒が多いということは事故も必然的に増えてしまうのでこのような取り組みはとても大切だと感じたのでこれからも続いてほしい。
- ・ 「スクールポリス」という活動を行っていた。学年ごとに曜日を分けパトロールなどを行っているように見受けられた。このような活動を通して子供たちは自主性を高め、さらには自分たちで考えて行動することの楽しさややりがいといったものを感じられているように感じた。海外でもこのような探求的な活動が行われているのに驚いた。
- ・ スクールポリスという活動について学校の生徒たちで地域と関わり合って交通安全や伝統を守っている姿が見受けられた。海外でもこのような総合的な活動が行われていることに驚いた。カンボジアは小学校から原付に乗れることができると聞いて子どもたちの意識を高めるとい点でスクールポリスは非常にいい活動であると思った。
- ・ スクールポリスとして、交通安全を率先して取り締まるのは良い心掛けだと思いました。自分たちで自分たちの身を守るというのをモットーに伝統を引継ぎつつ交通安全を図ることはそう簡単なことではないと思うので、子どもたちに感心しました。
- ・ カンボジアからの参加ということで、ネット回線の遅れや通訳の乱れもあり、すべてを完璧に理解することは難しかったかもしれません。しかし、「みんなの安全を守る」という目的で、生徒自身がスクールポリスを行っているという話には驚きました。異なる文化や環境を知ることは、自分たちの「当たり前」を見つめ直す大きなきっかけになります。これからも、世界に目を向け、新しい価値観を学び続けてください。
- ・ 発表内容があまり聞き取れなかったので内容があまり分からなかったです…。スクールポリスの活動は子供達の安全を守るだけでなく、自動車や自転車、バイクを運転する側の安全への意識を高めることにも繋がると思いました。
- ・ 交通安全についてのスクールポリスが定められており、各学年で担当の曜日を決めながら子どもたち全員の安全を守る工夫がされているのがとても良いと思いました。この伝統を今後も引き継いでいきたい、という言葉がとても印象に残っています。今回発表していただいたように、一人で取り組むのではなく、一人一人を守るために全員で取り組む、ということが重要だと学ぶことができました。
- ・ スクールポリスは、おそらく日本には存在しない文化でとても興味深く聞きました。日本とは違い、10歳から自転車やバイクで通学していることにも驚きましたし、そうだからこそ「自分たちの安全を自分たちで守る」という言葉がとても印象に残りました。聞いたこと・見たことのない文化でとても面白かったです。ありがとうございました。
- ・ 日本でも、交通安全やルールを守るといことについて学習しますが、SchoolPoliceのように自分たちでそれを取り仕切るといことはしないので、お話を聞いていて興味深く感じました。日本には信号機や標識など様々な交通のきまりがあり、それらに小さいときから馴染んでいくことで安全な暮らしに繋がるといので、SchoolPoliceのように子どもたちが身近に感じれる機会を日本でも作っていただけるといなと考えました。
- ・ カンボジアの交通状況に着目し、自分たちに何ができるのかという分析とスクールポリスについての説明がしっかりしていてよかったです。これからも、命を大切にしようとする姿勢を大事にして、自分たちのやるべきことを見つけ、探求してってください。素晴らしい発表、ありがとうございました。
- ・ 交通安全を守るためにそれぞれのグレードで分けて交通安全のための活動を行っていることを知った。動画を見ると町ではバイクがあちこちを走っていたり子どもたちも自転車をたくさん使ったりしていた。このような状況の中で何十年も交通安全を守り続ける活動を行ってきたのがすごいと思った。これからも続けていてもらいたいと思う。
- ・ 自分たちで自分たちの安全を守るという意識はとても大切だと思います。また、伝統としてスクールポリスを行い、交通安全を守る活動を実際に行っている活動は、とても素晴らしいと思ったので、誰も事故にあわないためにも、これからも伝統としてしっかり受け継いでほしいと思います。頑張ってください。
- ・ 大学生である自分にとって、新しい視点を発見することにつながる素晴らしい発表でした。また、日本でしか暮らしたことのない自分にとっても新鮮な経験になりました。ありがとうございました。これからの活躍にも期待しています！！
- ・ 下校時に生徒が担当して下校を見守るといスクールポリスという制度があることに驚きました。生徒自身が生徒の安全を守っている姿に感動しました。これからも伝統と安全をこれからも守っていただけるといなとよいなと思いました。スクールポリスという取り組みが続いていけるように頑張ってください。
- ・ 交通安全を守るためのスクールポリスの活動はとても良い活動であると思った。交通事故がとても多く発生していると思うので日本の学校でも取り入れて事故を減らすことができるようにしていく事が大切であると思った。
- ・ 発表の中で写真が多く用いられており、とても分かりやすかったです。ありがとうございました。遠く離れた国に住んでいても皆さんの発表をお聞きすることが出来、とてもうれしく思いました。またどこかで皆さんの発表をお聞き出来る機会を楽しみにしています。
- ・ カンボジアということで、日本とは環境も文化も違うのでとても興味深かったです。スクールポリスという活動は、私たちにはなじみがなかったので知れてよかったです。日本でもこのような活動をしてみたいと思いました。
- ・ 私は、「スクールポリス」と聞いて大人の警察官が学校に駐在して治安を維持することを想像していましたが、子供たちが自分たちで守るとい説明を聞いて驚きました。自分たちが使う場所やモノを自分たちの手で守る活動を通して、大きな責任感と使命感、達成感を得ることができるとい良い活動だと思いました。

- ・ 生徒一人一人がスクールポリスとして安全を守ることで、登下校中の事故や事件を少しでも少なくしようとしているのがわかりました。カンボジアは日本とバイクに乗れる年齢が違っており、事故の確率も上がるので、それ相応の対策をしなければいけないのだと考えます。事故を少しでも減らせるよう頑張ってください。
- ・ 自分たちがバイクや自転車などを使うからこそ、自分たちの交通安全を確保する必要もあり、かつ周囲の人にも安全に交通できるようにそのお手伝いをするのはとてもよいことです。普段、交通安全を気にかけることがないからこそ、とても貴重な機会だったと思います。動画や写真などを駆使して、理解しやすい発表でした。
- ・ 生徒たち自身で交通を整備するスクールポリスという活動は日本にはないものなので、新鮮に感じました。生徒自身が主体的に関わることにより、交通安全に対する意識を高めることができるので、良い伝統だと思いました。日本というカンボジアからは遠い国ですが、皆さんが事故に合わず、安全に暮らせるよう祈っています。
- ・ スクールポリスという活動を通して、伝統を守りつつ児童だけに限らず周りの安全のために活動をしていたのが素晴らしいと思いました。また、日本との交流ということでプレゼンの中に日本語もちりばめられていてすごいと思いました。
- ・ 児童の交通安全のために、学校と地域全体で交通整備の協力がなされているのだと知り、とても驚きました。自転車で通学する児童は日本にも多くいるため、皆さんの取り組む交通パトロールという取り組みは、日本でも活用することができるのではないかと考えました。
- ・ スクールポリスについて動画や写真を用いて説明をしてみなさんの発表のための準備が垣間見えました。スライドの工夫として三つの言語があったと思いますが、その工夫はとても分かりやすくていいものだと感じました。
- ・ 発表を聞いて、自分たちの安全は自分で守ることの大切さを学びました。それと同時に、その活動が28年も伝統として受け継がれていることに驚きました。パトロールをしたり、道路の交通を一時的に止めたりなど、子どもたちが自主的に活動していることがすごいと思いました。私も他の誰かに頼るのではなく、自分で自分の身や街を守るという当事者意識を持つことを忘れないようにしたいです。
- ・ スクールポリスという文化については日本にはなかなかないものではあるけれど、生徒が一体となって行う活動は国関係なくとても大切な活動であるなと感じました。また伝統として、このような活動が28年間の長い間残っているのはとてもすてきなことであるなと感じました。
- ・ スクールポリスを行うことによって交通安全について深く理解することができたり、自分の身は自分の身で守るということを再認識できたりするためとてもいい活動であるなと感じました。伝統を引き継ぎこれからも交通事故から自分たち自身を守る活動を続けていってほしいです。
- ・ 児童たち自身が、学校の安全を守るためにスクールポリスとして、行動していることに驚きました。日本とカンボジアでは文化も習慣も違います。それぞれの文化に合わせた活動が行われているんだなと思いました。日常生活の中で、バイクでの移動が一般的なカンボジアではスクールポリスの役割が多くの人々の安全を守るとともに、学校の伝統的なこの活動自体も守っているのだと思いました。
- ・ スクールポリスという活動は日本ではあまり聞いたことのない活動でした。生徒の安全を守る活動して、素晴らしい活動だと思いました。地域に昔からある活動を守りつつ、生徒がより安全に下校できるように日本の学校でもこのような活動が広まれば良いなと思います。日本には交通安全指導員という地域のボランティアの方々があります。登下校の時間に信号付近や交差点で子ども達の安全を守ってくれています。学校や他の期間と連携を取りながら安全を守って欲しいと思います。
- ・ カンボジアからの参加お疲れさまでした！スクールポリスという単語は日本では聞いたことがあまりなく、とても関心を持ちました。自分たちの地域や身の回りの安全を守るというのは素晴らしいと思います。日本にはない活動を知ることができてとても有意義な時間でした。いつかカンボジアを訪れてみたいです。素敵な発表をありがとうございました。
- ・ 子どもの安全や学校の秩序、社会生活に必要な力を身に着ける活動として、長く続けている活動に関する紹介でしたが、日本でも未成年の死亡理由として多い『交通事故』を防ぐ活動が伝統として引き継がれていることは、この学校の財産だと感じました。また、年数を重ねるごとに活動を改善していくことで、より良い活動に繋がるのではないかと思います。
- ・ 小学生がスクールポリスとして交通安全に貢献する姿勢は素晴らしいと思います。自ら地域の安全を守る意識を持ち、責任感を育む貴重な経験になります。また、通学する児童や地域の人々にとっても安心感が生まれ、交通マナーの向上にもつながるでしょう。こうした活動を通じて、自分たちの行動が社会に良い影響を与えることを学ぶことは、大人になってからの意識にも大きく影響すると感じました。
- ・ 28年前から続いている伝統のスクールポリスの活動を通して、自分たちの身は自分たちで守る意識が身につけていて素敵だと思いました。日本では、小学生がバイクに乗ることがないので少し驚きました。速やかに生徒が変えることは地元の人々にとっても交通の面で良いと思うので今後も伝統的に続けて行ってほしいと思いました。
- ・ スクールポリスという聞きなれない言葉が出てきたため、はじめは何かと思ったが、小学生が交通安全のために交通整理を行うことであることが分かった。児童が安全に交通できるように交通を止めるなど、自分たちが通学するからこそ自分たちで交通を守ることを行うという発想は日本では聞いたことがないので、面白い考えだと思った。
- ・ スクールポリスという存在が日本にはないので勉強になりました。自分たちで自分たちを守るというのは大切なことです。伝統をつなげていき、交通安全についての意識を高く持ち続けてください。発表を聞いたみんなの安全まで祈ってくださりありがとうございます。とても温かい気持ちになりました。

- ・ スクールポリスという組織の活動をとおして自分たちの安全を自分たちで守っていかうという気持ちや行動はすごいと感じました。また、28年の伝統があるということにも驚きました。日本の児童会や生徒会とは異なるが、自分たちの学校生活をより良いものにしようとする意識には共通するものがあると感じました。
- ・ 私は、あまりカンボジアについて知らなかったのですが、今回の発表を通して、カンボジアについて知ることができました。特に印象に残っていることは、小学生でもバイクに乗っているということです。発表を通して、視野を広げることができました。
- ・ 交通安全を生徒がすることには驚きました。生徒が通るときに車の通行を止めるのは安心ですね。28年も続いていてすごいです。
- ・ 学校の伝統的な活動を何年も続けていて、学校を安全に保つという心意気が素晴らしいと思いました。皆さんなら身近な問題から解決していき、さらに地域の問題や国を超えた問題など様々な問題について考えていけるとと思います！頑張ってください！
I thought it is wonderful that you have been doing this traditional school activity for so many years and your spirit of keeping the schools safe is wonderful. I am sure that you will be able to solve problems that are close to you, and furthermore, think about various issues such as local and national issues! Good luck!
- ・ Svay Rieng Ahnuwat Primary School Grade 5&6のSchool Policeの発表を見させていただきました。カンボジアという言語も文化も違う生徒たちが私たちに自分たちの活動を伝えようとするのがとてもかっこよく思えました。自分たちの中から学校警察を生み出しより良い学校生活を作ろうとするのはこれから出ていく社会の形と組み合わせるととても良い勉強になったと思います。
- ・ スクールポリスという活動を行い、自分たちの力で交通安全を守るということはとても難しいことだと感じました。しかし、この活動を伝統として交通安全を守っていくという姿勢はとてもかっこいいと感じました。これからも頑張ってもらいたいと思います。
- ・ 私の通っていた学校でも集団下校といった似たような目的で行われるものがあった。しかしそれは先生が完全にやるもので高学年の生徒も関与しないものだった。5、6年生がサポートするというのは責任感をぐくむうえでも非常にいいなと感じた。
- ・ スクールポリスの活動は、子どもたち自身が交通安全に関わることで、責任感や地域への意識を育む貴重な取り組みだと思います。28年もの間続いているということは、地域全体で安全を守る意識が根付いている証拠でもあるでしょう。学年ごとに担当を分け、カラーコーンを設置するなど具体的な行動を通じて、安全な登下校を支えている点が良い。このような活動を通じて、子どもたちが社会の一員としての役割を自覚し、将来の地域づくりに貢献してほしいです。
- ・ スクールポリスによって交通安全を解決するという、他人に期待するのではなく、自分たちでやる気概は素晴らしいものだと思います。一人一人の意見はとても素晴らしい力を持ちます。どんどん考えたことを共有して行ってほしいです。
- ・ Listening to your learning activities to keep students safe and maintain order, I realized the importance of looking for something that can be done for society. We in Japan would like to emulate your activities.